

日本相補・代替・伝統医療連合会議雑誌

(JACT)2(2)、2006.

特集

「相補・代替・伝統医療を応用している（現代）医療施設」

「サブタイトル」：「透析患者に補完・代替医療」

施設名：板橋中央総合病院血液浄化療法センター・腎不全外科

施設開設者名：中村哲也

担当施療者名：阿岸鉄三（外気功・人工炭酸泉浴・指圧 / 医師） / 赤松真（人工炭酸泉浴 / 医師） / 奥野友香（鍼灸・マッサージ / 鍼灸師・マッサージ師）

所在地：〒174-0051 東京都板橋区小豆沢
2-12-7

Tel & Fax:03-5915-2775（阿岸直通）

E-mail:na6t-ags@asahi-net.or.jp（阿岸）

ホームページ：<http://www.ims.gr.jp/>（病院）

医療行為の種類：外気功・人工炭酸泉浴・鍼灸・指圧・マッサージ

臨床効果：一般患者にも応用しているが、慢性腎不全に対して維持透析を行っている患者を主な対象にしているのが、当施設の特徴である。わが国においては、腎移植数が増加しないことから維持透析患者が累積増加し、25万人を超える状況となっている。最近では、透析患者の高齢化・糖尿病性腎症由来透析患者の増加・長期的透析患者の増加などの原因から閉塞性動脈硬化症・全身アミロイド症に悩む患者が多くなっている。閉塞性動脈硬化症によって脳梗塞が発症すると四肢の運動障害を起し、下肢に発症すると冷感・疼痛から歩行困難、時には壊死を起すことがある。アミロイド症によって全身的に多数の骨・関節に疼痛、あるいは運動障害を起すことがある。これらの症状には、服薬・外科手術・カテーテル操作などの現代的医療手段が効果的でなかったり、あるいは副作用のため、十分な治療が行われない場合がある。これらの病状にたいして、週1～2回の前述の補完・代替医療が、ときに奇跡的とも思われる効果を発揮している。

(写真1)閉塞性動脈硬化症・全身アミロイド症によ

って歩行困難状態にあった患者に外気功を行ったところ、杖をおいて歩いた。

(写真2)閉塞性動脈硬化症によって、足趾にできた潰瘍が、薬剤治療と人工炭酸泉浴で6ヶ月後にほぼ消失した。

外来診療時間：阿岸・奥野（月曜日・木曜日午前）、赤松（水曜日午前・木曜日午後）。

診療費用：外気功（無料）・鍼灸（鍼代自費）・人工炭酸泉浴（健保適用）